

蔵王山の火山活動解説資料（平成 25 年 6 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

4日に火山性微動が発生しましたが、地震活動や地殻変動等に特段の変化はみられません。ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意してください。平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図1）

遠刈田温泉（山頂の東約 15km）に設置してある遠望カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

・ 地震や微動の発生状況（図2～3）

4日に振幅の小さな火山性微動を観測しました。継続時間は約2分20秒で、火山性微動を観測したのは、2013年4月21日以来です。4月7日と21日の火山性微動発生直前には、坊平観測点の傾斜計¹⁾のデータにわずかな変化がみられましたが、今回は認められませんでした。

火山性微動が発生した前後を含む今期間、空振計及び表面現象に変化は認められませんでした。火山性地震は少ない状況で経過しました。

1) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。

・ 地殻変動の状況（図4）

火山活動に関連する変化は認められませんでした。



図1 蔵王山 山頂部と御釜付近の状況（6月25日06時00分頃）

・ 遠刈田温泉（山頂の東約15km）に設置してある遠望カメラの映像です。
注）御釜から噴気が出た場合、高さ200m以上のときに観測されます。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成25年7月分）は平成25年8月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。

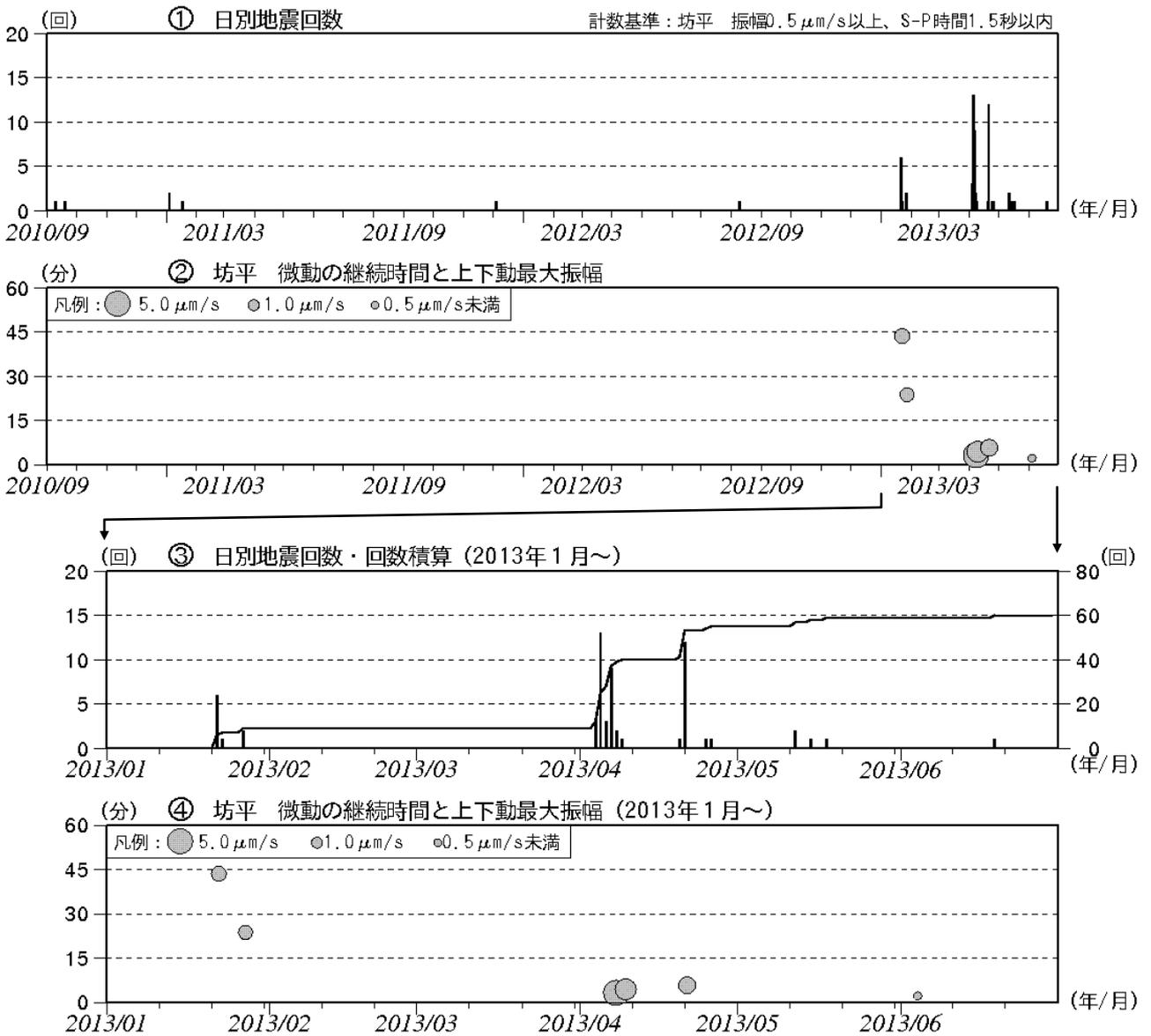


図2 蔵王山 火山活動経過図（2010年9月～2013年6月）

2010年9月1日から観測を開始しました。

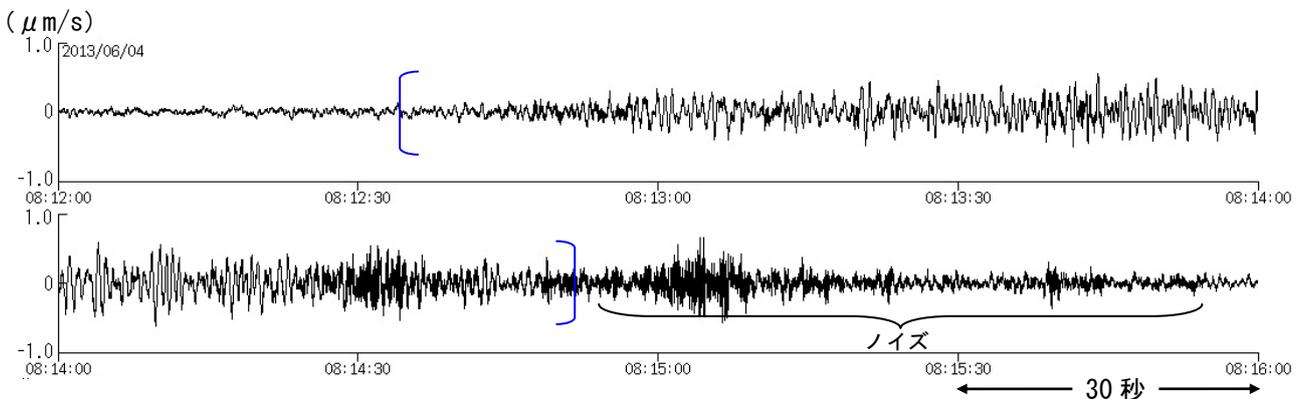


図3 蔵王山 坊平観測点の火山性微動の波形（2013年6月4日08時12分～08時16分）

- ・上下成分、速度波形、固有周期1秒。
- ・微動は08時12分33秒～08時14分50秒の青い〔 〕部分です。

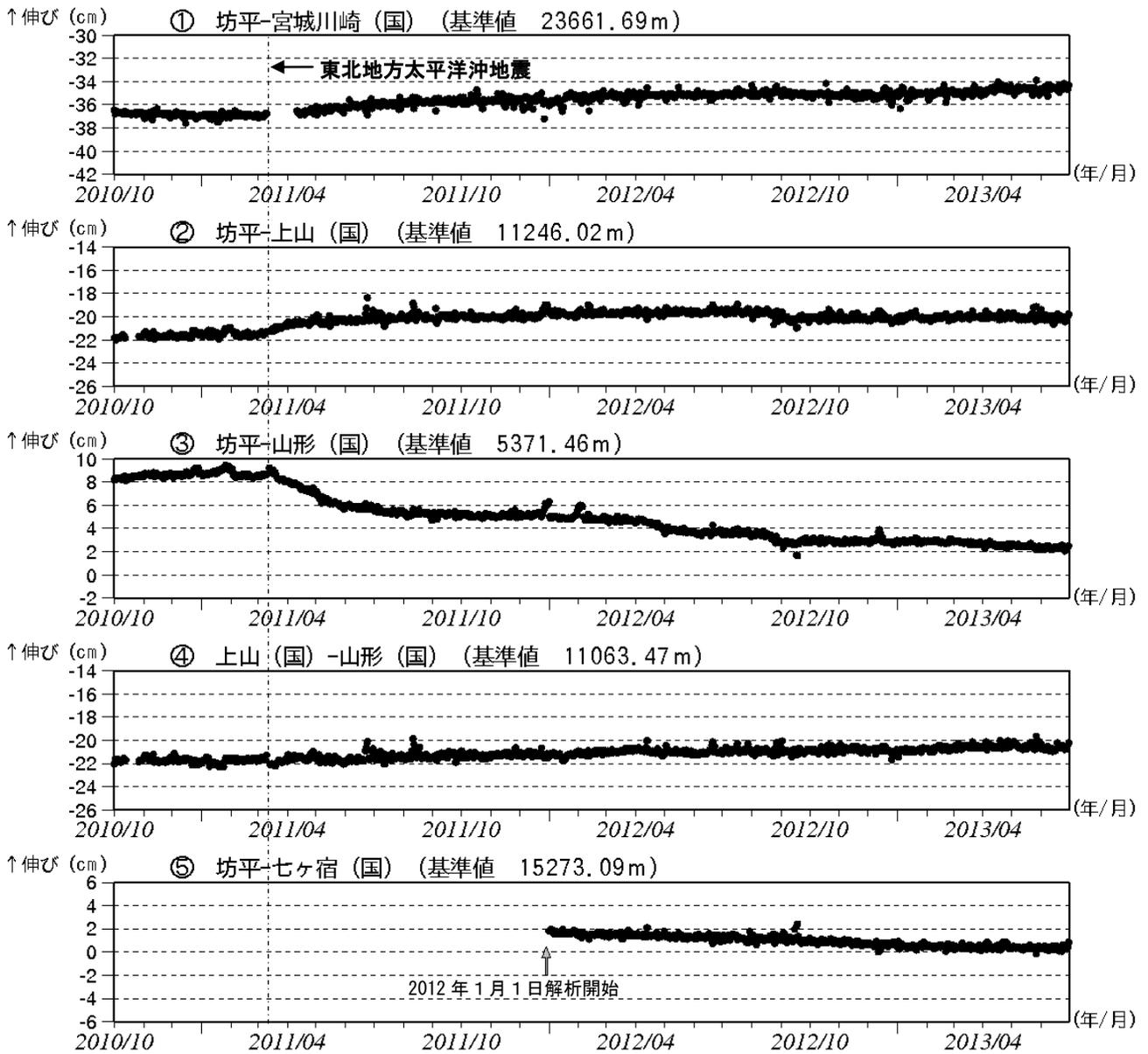


図4 蔵王山 GPS 基線長変化図 (2010年10月～2013年6月)

- ・ 2011年3月11日以降の変動は、東北地方太平洋沖地震による影響であり、火山活動によるものではないと考えられます。
 - ・ 東北地方太平洋沖地震に伴うステップを補正しています。
 - ・ ①～⑤は図6のGPS基線①～⑤に対応しています。
 - ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
- (国) : 国土地理院

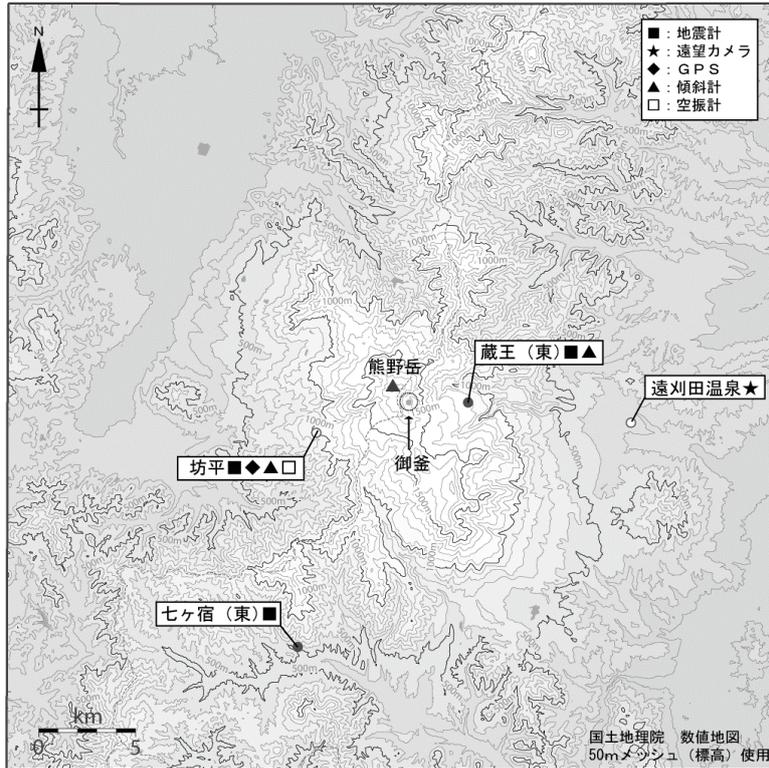


図5 蔵王山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（東）：東北大学

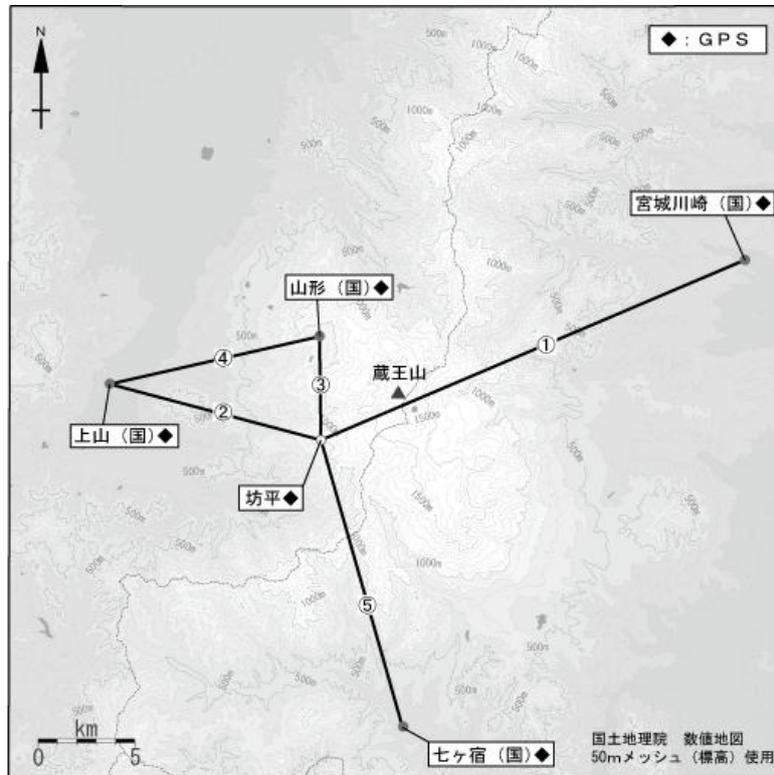


図6 蔵王山 GPS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（国）：国土地理院